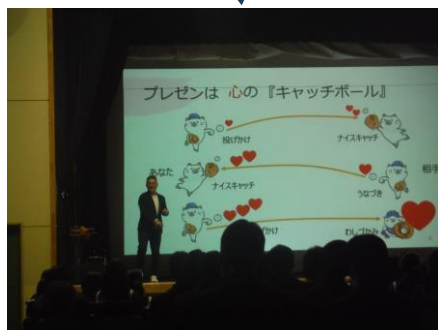


## 佐呂間町教育委員会

3年生による町長・教育長へのプレゼンの様子！



尾方一成氏による全校生徒へのプレゼンの講義の様子



全校発表の様子！数名の方が参観に来ていました



## 『育てたいさろまっ子』の具体像につなげる！



# 佐中「総合的な学習の時間」

中3は地域活性化策を町長・教育長に提案

## 町長と教育長に 地域活性化策を提案

子育て世帯定着へ環境整備等

12月2日（火）、佐呂間中学校の3年生は、武田町長と鈴木教育長に総合的な学習の時間の一環で、町の活性化策をプレゼンテーションしました。

例年、米国アラスカ州のパーマ市の生徒との交流や上級学校訪問などを総合的にまとめ、グループごとにプレゼンテーションを実施していましたが、今年度は3年生33人が一人一テーマで活性化策を考えました。この日までに学級でプレゼンを行い、その中から選ばれた生徒8人が発表に立ち、自身の住んでいる町の現状や課題、改善策など、学習してきた成果を伝えました。

プレゼンテーションでは、佐呂間町が北見市や網走市などから通り道になっているとして、子育て世代の定着を図り居住環境を整備する案や、町の高校生を増やすために下宿などの宿泊環境を整備する案、市民と作る美しい町案などを発表しました。

講評では、武田町長が「写真の使い方やデータのグラフの使い方などが上手だった。町でも活性化策の共有を行う」などと述べました。

また、鈴木教育長は「データを示しながら説明していたところが良かった。これからも町について考える学習に取り組んでほしい」と述べました。

## 全校発表会を実施！

十二月十八日（木）佐呂間中学校の総合的な学習の時間の一年間の集大成でもある、全校発表会が行われました。この日までに各学年ごとに発表を行い、各学年の代表が全校生徒の前で発表しました。

一・二年生はグループによる「職場体験」についての発表。三年生については一人一テーマで「佐呂間町活性化案」についての発表でした。

この日は、プレゼンテーションについての講義を各学年四回行っていたいた尾方一成氏（佐呂間町出身）も中学校にお迎えし、発表した班（個人）それぞれに講評をいただき、最後に今年度行ったプレゼンテーションの「極意」について、振り返りも含めて、生徒に熱く語っていただきました。



## 「国際理解」について

佐呂間中学校では、総合的な学習の時間で、国際理解についても学習しています。

（1）探究学習やパーマ生徒との交流を通して、アラスカ州の伝統や文化について理解を深める。

（2）パーマ市の生徒との交流から、国際感覚や柔軟な思考力、異なる視点や価値観を理解する力を養う。

以上のことを目的として、一年生は「アラスカの食」について、二年生は「アラスカの伝統や遊び」について、三年生は「アラスカの歴史」について学習しています。

今年度も六月六日～二十日の期間、パーマ市から中・高校生が十名来町し、佐呂間からは九月五日～二十日までの期間、中学生一名、高校生三名がパーマ市を訪れ、交流しました。